

# 2024 年度 経営学部セミナー 実施報告

経営学部 研究推進委員会

2024 年度経営学部セミナーでは次の研究報告等（6 件）がなされたことを報告します。

## 1。2024 年度 第1回 経営学部セミナー

### 今後のキャリアをコンサルタント視点で説く

株式会社 ベイカレント・コンサルティング シニアマネージャー 野口 廣太郎 先生

日時：2024 年 5 月 25 日（土曜日） 11 時～12 時 30 分

会場：文教大学 東京あだちキャンパス 2301 教室

内容：野口先生をお招きし、「今後のキャリアをコンサルタント視点で説く」との題目で、経営学部セミナーを開催しました。野口先生のご講演は、①コンサルティングの仕事内容や業界概要を説明する「講義パート」と、②ご自身の経験から得た教訓を、今後のキャリア形成にコンサル目線で共有する「メッセージ・パート」で構成されました。「講義パート」では、コンサルティング業務が大きく「戦略コンサル」「経営コンサル」「IT コンサル」及び「システム開発」の4種類に分けられること、コンサルタントにとっての重要なスキルが「分析力」「コミュニケーション力」及び「問題解決力」の3点に大別されることを、具体的な事例や経験談を交えてお話下さいました。学生へのメッセージは、今後のキャリア形成において「3つのスキルを活用して就活を効率的/効果的に行う」と言う短期的な話と、「時間の切り売りを極小化し人生を充実させる手法を知ること」という長期的な話でした。Q&Aパートでは、7名の学生から質問が行われ、質問に対する野口先生のご見解を共有いただきました。なお、参加者は、経営学部学生約150名、教員1名でした。

## 2. 2024年度 第2回 経営学部セミナー

### 文化的活動に関する経済データ分析

文教大学 経営学部 高良 佑樹 先生

日時：2024年6月26日（水曜日） 15時30分～16時30分

会場：文教大学 東京あだちキャンパス 3302教室

内容：講師に高良佑樹先生をお迎えし、「文化的活動に関する経済データ分析」と題しご講演をいただきました。コンサートや映画などの文化的活動が近くであると足を運んでみる人や、距離に関係なく年に何度もそれらを楽しむ人もいます。文化的活動に参画する、または、何度も足を運ぶ頻度の主要因は何か。そんな問いに実調査データに基づき、適した統計分析手法を駆使し分析した研究を紹介していただきました。様々な要因の中には、学歴や年収、都市規模などの興味を引く要因もデータに基づき提示され、文化的活動を活性化させる施策立案につながる示唆に富んだセミナーとなりました。講演後のディスカッションでは、近隣にある文化的施設の種類の影響や一時的に発生する文化的活動のモデルへの導入の可能性など活発な意見交換がなされました。なお、参加者は4名（教員4名）でした。

## 3. 2024年度 第3回 経営学部セミナー

### キャリアジャーニーの歩み方

株式会社じげん 社外常勤監査役、マックス株式会社 社外取締役（監査等委員）、  
公認会計士・公認不正検査士 矢島 茉莉 先生

日時：2024年7月27日（土曜日） 11時～12時30分

会場：文教大学 東京あだちキャンパス 2302教室

内容：矢島先生をお招きし、「キャリアジャーニーの歩み方」との題目で、経営学部セミナーを開催しました。矢島先生は、抽象的なイメージをもつキャリアを旅と捉える考え方「キャリアジャーニー」を軸としたご講演を行ってくださいました。キャリアジャーニーにおいては、具体的な目的・テーマを見つけることが大切です。矢島先生は、イソップ童話で有名な3人のレンガ積みのお話を例にとり、ご自身の働く目的（使命）が「社会からの会社に対する信頼を守る」ことにあり、ご自身の旅のテーマは「ワクワクすること！（ワクワク・ドリブン）」だと優しく語りかけてくださいました。キャリアの旅で目的やテーマを見つけるための1つのヒントとして、「コンフォート・ゾーン」を抜け出すことが大切というお話も印象的でした。以上の内容を、ご自身の旅における（失敗）経験や葛藤とともに、余すことなく語ってくださった矢島先生のご講演は、参加した学生にとって自分事として捉えやすく、非常に納得感

のある人生の先輩からのメッセージとなり、盛大な拍手とともに幕を下ろしました。Q&Aパートでは、13名の学生から質問が行われ、質問に対する矢島先生のご見解を共有いただきました。なお、参加者は、経営学部学生約100名、教員2名でした。

#### 4. 2024年度 第4回 経営学部セミナー

### 小売企業の出店行動に関する定量的分析

文教大学 経営学部 西川 みな美 先生

日時：2024年9月25日（水曜日） 15時30分～16時40分

会場：文教大学 東京あだちキャンパス 3302教室

内容：講師に西川みな美先生をお迎えし、「小売企業の出店行動に関する定量的分析」と題しご講演をいただきました。大規模小売店は様々な地域に出店し競争を展開していますが、同じ地域に集中して出店（ドミナント出店）する企業がある一方で、あえて他社店舗の多い地域に出店（競争の出店）する企業も観察されます。その出店戦略の違いの要因は何か。その問いに全国での出店状況と様々な財務データ等に基づき、統計的な手法で仮説を検証する定量分析でのクリアな研究成果を紹介していただきました。様々な要因分析の中でも在庫の動きに注目した結果は興味を引き、地域で展開されているビジネス上の競争を分析する際の新しい視点を提示していただいた示唆に富んだセミナーとなりました。講演後のディスカッションでは、在庫の動きをより精緻に数値化できるとであろうアイデアや、都道府県エリアではなく経済圏域をエリア単位とした分析の可能性など活発な意見交換がなされました。なお、参加者は10名（教員8名、学生1名、一般1名）でした。

#### 5. 2024年度 第5回 経営学部セミナー

### 明るいキャリアビジョンを描く人は何が違うのか？

EY 新日本有限責任監査法人 シニアマネージャー 公認会計士 峰 麻衣子 先生

日時：2024年10月12日（土曜日） 11時～12時30分

会場：文教大学 東京あだちキャンパス 2301教室

内容：峰先生をお招きし、「明るいキャリアビジョンを描く人は何が違うのか？」との題目で、経営学部セミナーを開催しました。峰先生は、公認会計士の仕事内容と魅力、My career、Your careerの順に、お話を展開してくださいました。公認会計士に関しては、監査業務の仕組みや考え方を、具体例を交えてわかりやすく概説し、公認会計士の様々な魅力を紹介してくださいました。続くMy careerのパートでは、公認会計士試験の受験勉強時代において、一度挫

折してから立ち直るまでのご経験を共有することにより、聴講生に勇気を与えてくれました。難関資格の取得に立ち向かい、諦めずに努力を継続することができたプロセス（＝「心のお守り」）を獲得できたことこそが、その後の人生に豊かな実りを与えることになったというご経験談は、説得力のあるものでした。最後に、Your careerのパートでは、「自信や自己肯定感をもつために何ができるでしょうか？」という質問を投げかけたうえで、Want（したいこと）、Must（しなければならないこと）、及びCan（できること）の交差点からMy purpose（人生の目的）を導きだすことの意義を熱弁してくださいました。Q&Aパートでは、10名の学生から質問が行われ、質問に対する峰先生のご見解を共有いただきました。なお、参加者は、経営学部学生約100名、教員1名でした。

#### 6. 2024年度 第6回 経営学部セミナー

### 未来を創る学び～社会人への第一歩～

ピーエムジー株式会社 東日本経営支援部 佐藤 慎之介 先生

日時：2024年12月21日（土曜日） 10時50分～12時20分

会場：文教大学 東京あだちキャンパス 2302教室

内容：佐藤先生をお招きし、「未来を創る学び～社会人への第一歩～」との題目で、経営学部セミナーを開催しました。佐藤先生は、「充実した大学生活を送るために」、そして、大学卒業後の「次のキャリアでスタートダッシュを決めるために」、どのように考え、行動すればよいのか、という観点から、大学生の目線に立った様々なアドバイスを下さいました。佐藤先生の主要なアドバイスは、①常に感謝の気持ちを持ち、表現すること、②多くの挑戦を重ねること、③人生は（たとえ失敗することがあったとしても）意外となんとかなるということ、の3点に要約されます。ご自身の経験を踏まえ、学生が今すぐにでも行動に移すことが可能な様々なメッセージは、具体例とともに、時にユーモアを交えて語られることで、多くの学生の心に残りました。Q4&Aパートでは、12名の学生から質問が行われ、質問に対する佐藤先生のご見解を共有いただきました。なお、参加者は、経営学部学生約100名、教員1名でした。